

2024/2/14 16:40~17:10

文書管理システムプロポーザル第2回審査会 記録

審査員長

企画部 部長 安形 知哉

審査員

資産経営課 課長 藤井 公和

D X 推進課 課長代理 西川 博史

消防総務課 主任 滝口 進也

総務課 主任 鈴木 啓介

D X 推進アドバイザー 川口 弘行

事務局

D X 推進課 D X 推進係 係長 岸 大樹

挨拶 (安形)

プレゼンテーション審査お疲れさまでした。二次審査で優先交渉権者を決定する。引き続き
厳正な審査と議論をお願いします。

採点講評 ※◎は加点要素、×は減点要素

安形

システムについて、プレゼンテーションでデモ画面を見るなどして、書類審査時点よりもよ
く分かった。

×C社 社の体制

藤井

A社・C社 同じシステム提案のため、評価同じ

◎B社 内部システムで本市導入実績あり、連携等を評価

西川

真ん中を標準とし、優れた提案があったかどうかで採点

×C社 保守体制が不安

滝口

- ◎A社・C社 プレゼンテーションが、市の課題に寄りそう印象
- ×B社 マニュアル的、朗読したようなプレゼンテーション
- ×C社 実績不安

鈴木

- ◎A社・B社 運用フェーズが深く考えられている
- ×C社 他社製システムによる提案。導入が不安
- ◎A社 庁舎移転に言及、説明内容根拠ある印象、その他提案が魅力

川口

2次審査は人を見ている。これから一緒に仕事をしていけるかどうか。

B社 営業が説明×、これから一緒に仕事をするプロジェクトリーダーに説明してほしい。しかし、理詰めの説明。根拠あり。

A社 可もなく不可もなく

C社 減点

採点の変更

藤井

基準を20点に置いたつもりであったが、30点を基準にしてしまっていた。

全部10点ずつ引きたい。

優先交渉権者の決定について

岸

それでは、この採点内容で、二次審査結果を確定します。

審査結果を踏まえ、優先交渉権者を決定します。合計得点の最も高いA社を優先交渉権者といたしますが、よろしいでしょうか。

審査員 異議なし